

# 役場庁舎へ エアコン設置すべきでは

## 来年夏までに設置する方向



議員 佐藤克典  
(政和会)

**問** 今年8月に入ると猛暑が続き、8月11日には、危険な暑さとされる36度を記録した。近年、温暖化によって気温の上昇が顕著になっている。特に、今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用で体感温度は上昇し、体への負担が増している。来庁者、職員の適正なる体調管理、熱中症予防のために、役場庁舎にエアコンを設置すべきと考えるがいかがか。

**佐藤町長** この猛暑については来年以降も続くものと見られ、暑さ対策の必要性を強く感じている。手続きや会議等で来庁する方の体調管理や、職員の業務効率を考慮

し、来年の夏までにはエアコンを設置する方向で進める。

### 山田北インターのフル化

### 要望基礎調査業務委託は 実施されたか

### 速やかに着手できるように 努める

**問** フル化が実現した場合、物流への好影響、そして救急医療を担う宮古病院への所要時間の大幅な短縮と地区住民にとっては真に命を守る道路となる。要望強化の基礎資料となる山田北インターフル規格化要望基礎調査業務委託は実施されたのか、その結果と内容は。

**町長** この調査は、今後、国への要望活動に備え、基礎資料を作成することを目的としている。現在、調査対象企業の選定や委託業務内容の精査を行っている段階であり、速やかに着手できるよう努める。

**問** 基礎調査業務委託事業について説明された

**佐藤建設課長** 山田北インター周辺の立地企業に対して、物流の輸送量、手段、現時点での課題・要望、また救急搬送時におけるフル化への必要性を整理するための調査である。

**問** フル化実現には国を納得させる、確たる理由、説得力のある資料により訴えることが不可欠だと思ふ。この調査は、そのバックデータと成り得るものと思うので早期に実施されたい。

**町長** 調査をしっかりと行い、宮古市と協力して三陸国道事務所の力も借りながらフル化が実現できるように進めていく。

### 豊間根支所兼集会所施設の 建設時期は

### 7年度の供用開始を目指す

**問** 豊間根支所・生活改善センターの建設についての具体は、もちろんこれからのことだと思ふが、いつ頃を目標に建設を進めたいのか。また場所、規模について伺う。

**町長** 老朽化やトイレ環境の改善など、施設の充実を求める声に対応するため、建設事業化について検討する。現時点で詳細な内容は確定していないが、7年度の供用開始

を目指し、地域の意向を聞きながら進めていく。**問** 規模はどれくらいか。また、地域での懇談会は開催するのか。**川守田復興企画課長** 規模は織笠コミセン程度の面積を想定。懇談会は開催する。

**問** 障がい者用トイレについても設置するべきと考えるがどうか。**復興企画課長** 設置することで進めたい。



建て替え予定の生活改善センター